

越前町小中学校の再編についての地区懇談会 結果概要（常磐小学校区）

- 開催日：令和4年5月12日（木）午後7時～9時15分
- 場 所：常磐小学校体育館
- 参加者：保護者12名 一般住民21名 合計33名
- 内 容：常磐小学校の再編についての意見交換

主な意見と回答

（参加者）地域の方々は常磐小学校に対する思い入れは強い。提言書には地域の思いなどどのように表現されているのか。

⇒（教委）具体的に表現されていないが、学校と地域一体となっていることは理解している。

⇒（参加者）周知方法など地域の思いを取り入れた意見交換をして欲しい。

（参加者）跡地活用など今後の在り方はどのように考えているか。

⇒（教委）非常に時間を要する問題であり地域と話し合いをしながら進めていきたい。

⇒（参加者）そもそも子どもを増やすような施策が必要ではなかったのか。学校再編は教育委員会だけでなく町と連携しながら進め、再編と並行しながら案を提示して欲しい。

（参加者）子どもが人数の多い朝日小学校に馴染めるか不安。糸生小学校も将来統合するのであれば、3校同時に統合できないのか。

⇒（教委）3校同時再編というご意見があるのであれば、検討課題として考えたい。

⇒（参加者）複式学級だから学校統合という町の考えはどうかと思う。

⇒（教委）学習指導要領が改訂され、主体的・対話的で深い学びを通し生きる力を育むことを目標としている。そのため、一定規模の学校の学びが必要であるとする。

（参加者）複式学級が悪いのか。小さい規模の学校があっても良いし、もう少し時間をかけて結論を出して欲しい。統合が仕方ないのであれば、糸生小学校と一緒に統合するなど配慮が必要。

⇒（教委）糸生小学校との再編などのご意見も含め、持ち帰り報告し検討したい。

（参加者）学問だけでなくお互い喧嘩や競争など切磋琢磨しながら、大人になる前の人間を育てることが大事であることなど、子どもの視点で考え再編に賛成する。

（参加者）過去のアンケート調査で、統廃合の検討の要望を受けたと判断したのはなぜか。

⇒（教委）アンケート結果で「適正な学級や児童生徒数について検討すべき」の回答が多く、検討委員会の中でそのように捉えたと考える。

- ⇒（参加者）令和3年度中に基本方針を決めたいということであったが、現時点での考えを教えてください。
- ⇒（教委）皆さんからの意見により慌てずに決定していきたいと考えている。
- ⇒（参加者）学校同士の伝統を引き継ぐ統合を実現するために、今の段階で考えはあるか。
- ⇒（教委）方針も決まっていないことから具体的には申し上げられない。
- ⇒（参加者）朝日地区の3小学校同時再編が、子どもたち、保護者の不安が一番軽減される方策だと思う。
- （参加者）地域づくりや跡地活用の進め方を教えてください。
- ⇒（教委）再編の理解が進めば、再編の年までの間に議論をしていくという考え。
- ⇒（参加者）提言書（案）での検討の中で、小規模特認校を意図した表記があったが、最終の提言書では削除されているのはなぜか。
- ⇒（教委）検討委員会では大きな議論になっていない。指示があって削除したものではない。
- ⇒（参加者）小規模特認校を望む保護者もあり、不登校の児童のためにも検討して欲しい。

（参加者）今の学校の状況では集団生活ができない。様々な子どもたちとの接し方、思いやりを育むなど子どもたちのことを一番に考えて欲しい。

（参加者）糸生小学校と合わせて再編するまでに、常磐小学校が成り立たなくなったら大変なことになる。

（参加者）県内で15人以下の小学校はあるのか。

- ⇒（教委）小中併設校を除けば常磐小学校のみである。
- ⇒（参加者）常磐小学校にかかる経費で町単独分はどのくらいなのか。
- ⇒（教委）管理費などで約1,170万円、講師などの人件費で約990万円である。
- ⇒（参加者）町の財政は厳しい。大きな費用がかかっていることもわからなければならない。

（参加者）学校再編により子どもには大きな負担とストレスがかかる。糸生小学校など違う校区の子どもたちと一緒に再編できればと思う。

（参加者）跡地活用についての意見を含め、地域の実情を定期的に把握、収集して進めていくべきではないか。

- ⇒（教委）今後も懇談会などでご意見をお聞きしていきたい。意見交換しながら進めていきたいと思うが、地域からもご意見を出して頂きたい。

（参加者）地域の拠点である学校が無くなることで、この学校区の将来をどうするか示さないまま学校再編だけを進めるのはいかなものか。この学校を残して欲しいし、残す方法を考えるのが行政の役割ではないか。子どもの教育どころの話ではない。

- ⇒（教委）全国的に人口減少が進む中、打開策や解決策は見つかっていない。皆さんのお知恵をお借りしたいが、教育委員会としては学校の教育環境についても考えていかなければならない。

(参加者) 保護者として少人数の学校が残念な環境ではないと感じる。主体的な学びが出来ていないわけではないし、中学校でも集団に馴染んでいる。

⇒ (教委) 小規模校の中でも辛い思いをされて方もいるのであれば早く対応したい。

(参加者) 現在の保育所の友だちと一緒に、スムーズな学校生活が送れるよう計画どおり再編を進めて欲しい。

⇒ (教委) 再編がいつになるか申し上げられないが、不安を取り除きながら進めていきたい。

(参加者) 町の財政が厳しくなったからといって、学校に係る費用が負担になっているというのはおかしい。少人数の学校は単価が高いのは当然だが、財政と教育は別の話である。

(参加者) 学校再編は子どものためにすること。他の市町もメリットがあるから統合しているのではないかな。

(参加者) 今後はどのように進めていくのか。

⇒ (教委) 本日のご意見を理事者に報告させていただく。今日だけでなく皆さんの納得がいくまでお話しさせてほしいので、色々な形でご意見を伺うことになればご協力をお願いしたい。